

令和3年7月16日

コロナ禍での学業継続を支えるため、学生に食料品詰合せを届けました！ ～広島大学学生応援プロジェクト第3弾～

広島大学では、本学基金への寄付者様のご支援を受け、食料品の詰合せを学生へ届ける取組を企画し、株式会社フレスタ様と下記のとおり実施しました。

詰合せの内容は、昨年コロナ禍を経験した学部2年生の学生が、1年前の経験を踏まえ、新入生のために考えました。食料品は、配送により、7月上旬に各学生の自宅へ届けられました。

広島大学では、これまで、アルバイトなどの収入が激減して生活に困っている学生・留学生のための本学独自の応急学生支援金制度（第1弾（支援は継続中））や、学生が安心して学業に励み、学生生活を送るための取組（課外活動、就職活動、教育実習）（第2弾）を支援してまいりました。今回はその第3弾として実施したものです。

記

配送数：200セット

対象学生：日本学生支援機構奨学金を受給する学部新1年生

詰合せ内容：お米（無洗米）、カップヌードル、レトルトカレー、パスタ、缶詰、野菜ジュース など



詰合せ内容（写真は株式会社フレスタ様ご提供）

【寄付者様の想い】

コロナ前ではあるが、過去に学生を何度か食事へ連れて行ったことがある。学生はみんなおなかを空かせていた。コロナ禍である現在は、より多くの学生が食事に困っているのではないかと、大変心配している。そんな学生を少しでも助けられればという想いで支援した。

【食料品詰合せ内容を考えた学生】

新型コロナウイルス感染症の影響が長期化し、経済的に困難に直面する学生が増えている中、このような機会をいただけたことを大変光栄に思います。広島大学で共に学ぶ方々のことを思い浮かべながら、困難な状況下であるからこそ、ホッと心が休まるようなパックになるように意識しました。

最後に、この企画にご協力いただいた全ての方に厚く御礼申し上げます。皆様が笑顔溢れる日々を過ごせるように、祈念しています。

(広島大学法学部2年 片山 開貴、田中 春香、徳間 将汰)

【食料品を受け取った学生①】

想像していた以上に素敵なお品で大変感謝しております。バラエティの豊富さと栄養のバランスに感激いたしました。大学一年生は慣れない生活の中、食生活が乱れやすく、特に私は魚類の摂取が不足していました。そのため、サバやサンマ、ツナの缶詰を頂いたことで不足を補うことができ、また自身の食生活を見直すきっかけになったと思います。加えて米類は店舗からの購入・運搬の労力が特に大きいため、このような形で頂けたことには寄付者・関係者の方々に感謝しかありません。

(教育学部1年生)

【食料品を受け取った学生②】

詰合せの内容を見て大変驚きました。

お米だけでなくお米と一緒に食べるカレーやふりかけ、パスタだけでなく複数のレトルトの具材、そして野菜ジュースなど、栄養のある内容で、身体にも気をつけていただき本当にありがとうございます。

寄付者の方には感謝の言葉もありません。本当にありがとうございます。ご期待に添えるよう、これからも勉学や様々な活動に励んで参ります。

(経済学部1年生)

【お問い合わせ先】

基金室 基金担当 松田

Tel: 082-424-6132

E-mail: soumu-koyu@office.hiroshima-u.ac.jp

発信枚数: A4版 2枚(本票含む)